

好評発売中!!

虚像の抑止力

沖縄・東京・ワシントン発
安全保障政策の新機軸

新外交イニシアティブ 編

柳澤協二

屋良朝博

半田 滋

マイク・モチヅキ

猿田佐世

集団的自衛権の行使容認、
辺野古移設の強行着工……

日米外交の歪みを象徴する

「沖縄米軍基地問題」

外交・防衛・安全保障の

専門的見地から

政策の「あるべき姿」を発信！

 集報社

四六判並製 / 定価：本体 1400 円 + 税

【目次】

◆普天間基地問題にどう向き合うか—元防衛官僚の視点から
〔柳澤協二〕

「名護に行こう」という決断／名護市の危機は日本の民主主義の危機／名護市長選挙と今後の展望／米国のアジア回帰と沖縄海兵隊の抑止力／だれが基地の所在を決めるのか？

◆海兵隊沖縄駐留と安全保障神話—沖縄基地問題の解決にむけて
〔屋良朝博〕

海兵隊は本土から来た／米国の視点／日本の安保神話／海兵隊の実際の役割と機能／夢見るリアリスト／海兵隊撤退への道すじ／まずは「お金」／二枚目のカードは高速輸送船／ファクトにそくして日米同盟の再点検を

◆日米の盲目的な主従関係が招く沖縄支配 〔半田 滋〕

日米安保条約を踏み越えた米軍再編／米軍を守る沖縄の自衛隊／負担増反対の市長を追い落とす防衛省／「日本」を差し出した安倍首相／尖閣のため沖縄を切り捨てる

◆抑止力と在沖米海兵隊—その批判的検証

〔マイク・モチツキ〕

抑止力の概念とその限界／日本の安全保障専門家による抑止力の応用／安全保障のシナリオと海兵隊の役割／最後に—沖縄基地問題解決の方途

【座談会】沖縄基地問題の分水嶺—抑止力・集団的自衛権・県知事選
〔柳澤協二・マイク・モチツキ・半田 滋・屋良朝博・猿田佐世〕

沖縄にいない海兵隊／抑止力論の問題点／平時と有事をわけた日米同盟の運用と抑止力論／海兵隊ガム転移と自衛隊の位置／オーストラリアの新基地の位置づけ／米国のアジア太平洋構想に沖縄問題の解決を組み込む／米国内の海兵隊削減論と沖縄／海兵隊再編をめぐる二つの動向／集団的自衛権との関係／これから求められる具体的な日米協力／沖縄認識の現状

◆豊かな外交チャンネルの構築を目指して—新外交イニシアティブの取り組み 〔猿田佐世〕

資料 普天間基地移設問題の経過

【著者】

柳澤協二（やなぎさわ・きょうじ）〔新外交イニシアティブ理事〕

70年防衛庁入庁、運用局長、人事教育局長、官房長、防衛研究所長を歴任。2004年から09年まで、小泉・安倍・福田・麻生政権のもとで内閣官房副長官補として安全保障政策と危機管理を担当。現在、NPO国際地政学研究所理事。著書に『改憲と国防』（共著、旬報社）ほか。

屋良朝博（やら・ともひろ）

沖縄タイムス社を経て92年から基地問題担当、東京支社を経て、論説委員、社会部長などを務めた。2006年の米軍再編を取材するため、07年から1年間、ハワイ大学内の東西センターで客員研究員として在籍。2012年6月に退社。現在、フリーランスライター。著書に『改憲と国防』（共著）『誤解だらけの沖縄・米軍基地』（以上、旬報社）など。

半田 滋（はんた・しげる）

下野新聞社を経て、91年中日新聞社入社。東京新聞編集局社会部記者を経て、2007年8月より編集委員、11年1月より論説委員兼務。93年防衛庁防衛研究所特別課程修了。92年より防衛庁取材を担当。2004年、中国が東シナ海の日中中間線付近に建設を開始した春曉ガス田をスクープした。07年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリズム基金賞（大賞）を受賞。著書に『Q&Aまるわかり集団的自衛権』『改憲と国防』（共著）『ドキュメント防衛融解』（以上、旬報社）ほか。

マイク・モチツキ 〔新外交イニシアティブ理事〕

ジョージ・ワシントン大学教授。専門は日本政治および外交政策、日米関係、東アジア安全保障。南カリフォルニア大学およびイェール大学で教鞭をとり、ブルッキングス研究所シニア・フェロー、ランド研究所アジア太平洋政策センター共同部長などを歴任。99年より、ジョージ・ワシントン大学エリオットスクール（国際関係学）のAsian Studies（アジア学）のためのガストン・シガール記念センター・日米関係教授。現在はエリオットスクールの副学長、シガール記念センターの研究プロジェクト「Rising Powers Initiative」の共同責任者も務める。

猿田佐世（さるた・さよ）〔新外交イニシアティブ事務局長〕

2002年日本にて弁護士登録。09年米国ニューヨーク州弁護士登録。12年アメリカン大学国際関係学部にて国際政治・国際紛争解決学修士号取得。自らワシントンにてロビーイングを行う他、沖縄・日本の国会議員・地方議会議員、各団体等の訪米行動を企画・実施。大学学部時代から現在までアムネスティ・インターナショナル、ヒューマン・ライツ・ウォッチ等の国際人権団体で活動。著書に『国際人権法実践ハンドブック』（共著、現代人文社）ほか。

【編集】

新外交イニシアティブ（New Diplomacy Initiative / ND）

NDは、日米および東アジア各国において、外交、政治に新たに多様な声を吹き込むシンクタンクとして、2013年8月に設立。国内はもとより、国境を越えて、各国政府、議会、メディアなどへ直接働きかけ、「新しい外交」を推進する。設立前より、沖縄を初めとする日本の国会議員等の訪米行動を企画・実施し、2012年2月および2014年5月の二度の名護市長の訪米行動のコーディネートを担当（名護市は2013年、NDに団体会員として加入）。



申 込 書	虚像の抑止力	お名前	取扱書店
	沖縄・東京・ワシントン発 安全保障政策の新機軸 ISBN978-4-8451-1360-6 C0031 定価（本体1400円+税）四六判並製 196頁	ご住所 ご連絡先	
旬報社	〒112-0015 東京都文京区白台 2-14-13 電話：03 (3943) 9911 FAX：03 (3943) 8396 http://www.junposha.com/	注文	冊

お求めは最寄りの書店へどうぞ。小社にお申込みの場合、代金引換（送料200円）となります。